

--	--	--	--	--	--	--

様式 4

平成 25 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 25 年 6 月 2 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 黒沢高秀



<p>助成事業の区分 (該当するものに○印)</p>	<p>研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・その他の特別事業)</p>
<p>事 業 名</p>	<p>植物地理・分類学会 2013 年度大会・総会・エクスカージョン</p>
<p>事業実施期間</p>	<p>平成 25 年 6 月 1 日 (土) ~ 平成 25 年 6 月 2 日 (日)</p>
<p>成 果 の 概 要</p>	<p>フォレストパークあだたらレクチャーホールにおいて植物地理・分類学会 2013 年度大会、総会、エクスカージョン、福島大学共生システム理工学類研究実験棟生態学実験室、710~712 室、506 室において福島大学共生システム理工学類生物標本室 FKSE および遺伝子解析実験設備見学会を開催した。多くの参加者を得て、活発な議論が行われた。概要は以下の通り</p> <p>講演数：受賞講演 2 題，一般講演 6 題 参加者数：67 名（事前申込者（64 名）および記帳者（3 名）のみ。事前申込で欠席者 2 名，オブザーバー参加者数名を除く）</p> <p>資料として，プログラムを添付する。</p>

プログラム

2013年6月1日(土)

大会

会場：ふくしま県民の森フォレストパークあだたらビジターセンター

12:00 ~ 受付開始

13:00 ~ 13:50 総会

14:00 ~ 14:10 植物地理・分類学会賞授賞式

14:15 ~ 15:00 学会賞受賞講演：湯澤陽一

「東日本大震災による津波が福島県の海岸植物に与えた影響」

15:05 ~ 15:50 奨励賞受賞講演：三浦憲人

「日本産シソ科の細胞分類学的研究」

16:00 ~ 17:30 一般講演

(1) 上野雄規(宮城県白石市) 「宮城県から絶滅した維管束植物の標本」

(2) 黒川康嘉(香川県高松市) 「葉緑体 DNA による瀬戸内絶滅危惧種ウンラン(*Linaria japonica* Miq.)の由来」

(3) 中田政司(富山県中央植物園) 「外来キクタニギクによる固有種リュウノウギクの遺伝的汚染が始まっている?!」

(4) 谷 友和(上越教育大学) 「ウバユリ・オオウバユリの個体サイズ変異と発芽特性」

(5) 山路風太・綿野泰行(千葉大学大学院理学研究科) 「キツネノカミソリは開花前に小バチによって送粉される」

(6) 寺田和雄(福井県立恐竜博物館) 「日本産の三畳紀後期～白亜紀前期の針葉樹材—その地質層準の再検討と命名規約上の問題点—」

懇親会 18:00 ~ 20:00

会場：ふくしま県民の森フォレストパークあだたらビジターセンター

2013年6月2日(日)

エクスカージョン 9:00~12:00

ふくしま県民の森フォレストパークあだたらは、安達太良山の東麓の中標高域(550~850m)に位置し、ミズナラの二次林やアカマツやカラマツの植林などが広がる敷地内に遊歩道が整備されています。日本海区系と関東区系の移行帯に位置し、日本海要素(例えばチマキザサ、タニウツギ)と暖帯要素(例えばスズタケ、ニシキウツギ)が見られます。6月初旬は、森林内を流れる沢沿いにバイケイソウ、タニギキョウ、ヒロハコンロンソウなどが見られる頃です。朝食後、コテージから徒歩で移動します。

午後(14:00~17:00、時間は当日の状況により変更あり)は、希望者に福島大学共生システム理工学類生物標本室FKSE見学会(標本調査も可)を開催します。